

地域協働演習A/B/C 事前学習、JR海南駅での取り組み

地方交通について考える

和歌山における交通の現状や課題について整理
地方交通や交通の在り方について議論

調査・実践を行う

和歌山駅での業務体験
海南駅ICOCA推進に関する取り組み
(聞き取り調査)

地域協働演習adv. JR西日本近畿統括本部和歌山支社でのインターンシップ(2022年7月～2023年1月)

- ・副支社長や人事の方からJR西日本の会社説明や働くということについてお話しいただく(7月)
- ・和歌山支社若手社員の方との座談会(7月)

取り組み

01

JR和歌山線隅田駅における 隅田駅感謝祭開催

“ペイント駅舎”として地域住民から親しまれてきた隅田駅の旧駅舎取り壊しに伴い、駅舎に感謝を伝える感謝祭を実施。

各種広報物やノベルティカードのデザインや、駅舎フリーペイントコーナーの設計を行ったほか、当日のイベント運営や、記録動画撮影も担当した。

開催日には約250名の方に来ていただくことができた。



感謝祭を行った隅田駅舎

取り組み

02

JR海南駅における ICOCA利用推進活動

2年次に行った海南駅におけるICOCA利用状況調査を踏まえ、さらなるICOCA利用率向上に向けて企画から担当し、ポスターと動画の作成を行った。ポスターは従来の利便性という面以外にエコを押し出したり、動画は海南駅でのICOCAの買い方を中心に作ったりと工夫した。

目標の利用率には届かなかったが、掲出からの日数が浅いため今後の動向に注目していきたい。



作成したポスターと動画

取り組み

03

JR和歌山線沿線における マナーアップの取り組み

高校生の利用も多いJR和歌山線沿線を対象に、乗車マナーの向上に向けて活動を行った。和歌山線沿線にある和歌山県立粉河高校でアンケート調査を行い実態を把握した後、その結果と今後のマナーアップの取り組みに向けてまとめ、和歌山線沿線の高校が集まる校長会にて発表を行った。また、結果を高校へフィードバックするため、チラシの作成も行った。



校長会の様子

支社長や副支社長など社員の方に向けて活動報告会(1月)



学んだこと

企業・業界理解面

- ・鉄道業は旅客運輸だけでなく、沿線や地域とも連携した取り組みを行っていることを実際に体感した。
- ・活動を通して鉄道事業者として安全が第一であることも感じることができた。
- ・限られた経営資源の活用が必要になっていることも今回の企画を通して知ることができた。

自己成長面

- ・企画や事業を円滑に遂行するためには、関係者との連絡・調整を滞りなく行うことが必要である。
- ・仕事には様々な制約がつき、その制約の中で工夫を凝らし最大限のパフォーマンスを行うことが求められる。
- ・今回の活動を通して、鉄道事業だけに留まらない地方交通が抱える課題や現状にも目を向けることができた。